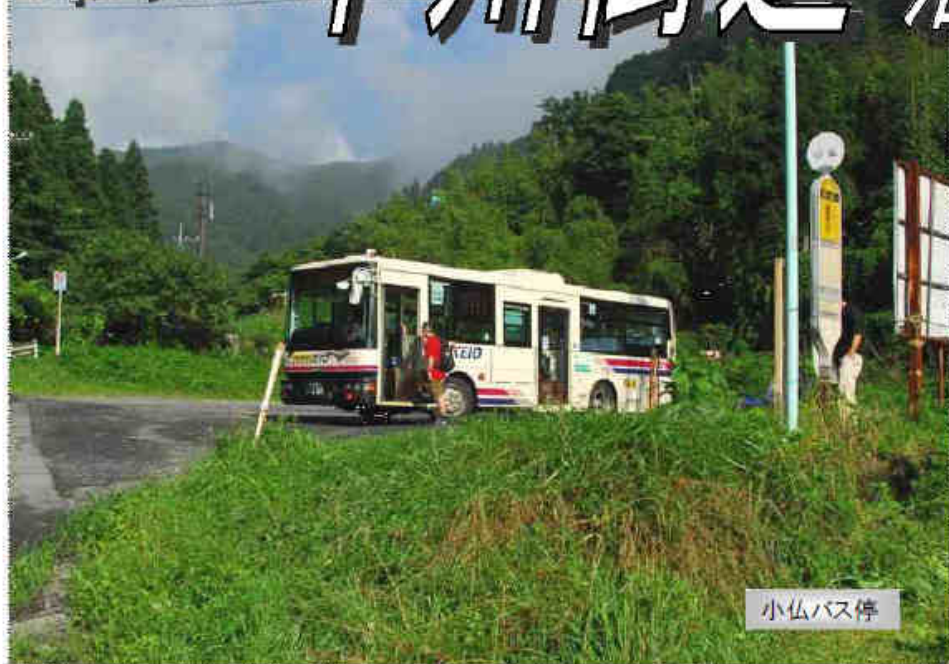


特集
小仏線

旧甲州街道に沿って



小仏バス停

高01系統、通称「小仏線」。高尾駅北口から小仏バス停間（4.8キロ）を、所要時間約20分（運賃二〇〇円）で結びます。

京王バス南 沿線おでかけ情報版

第12号
編集・発行 4班

▼本紙では、毎号、当社バス路線通称「小仏線」。この路線は、沿線の情報を皆さまにお伝えし前（4号）も取り上げましたが、今回は文字通り、脚を使つての取材を敢行！天狗のようにヒョイヒョイといけばよかつたのですが、

メインストーリー

バスは、沿線にお住まいの方が通勤や通学他、生活の脚として利用していただいています。昨年からは、主にバス通学する小学生の皆さんの安全と便利のために、平日の朝夕の時間帯にフリー乗降区間（駒木野〜小仏間・カーブや見通しの悪い場所を除く）を設定しました。

沿線は自然豊かで、季節によってさまざまな変化を見せてくれます。史跡や野外施設なども多くあり、特に行楽シーズンは土・日曜日を中心に、高尾山だけでなく、景信山や陣馬山などへハイキングに出かける方が多く乗車になります。



①「関東の駅百選」の一駅、クラシクな木造駅舎の高尾駅北口。西口から小仏は2番のりばから



小仏関跡

バスは高尾駅北口を出発、甲州街道（国道20号線）を大垂水峠方向へ。小名路バス停を過ぎ、西浅川交差点を右へ曲がると、道幅

は急に狭くなります。バスの幅ギリギリな場所もあり、反対側から来るバスを、すれ違える場所で待たなければならぬほど。この道は旧甲州街道で、一八八八（明治21）年までは武蔵国、相模国、甲斐国等を結ぶメインストリート。人や馬が小仏峠を越えて行き来しました。またの名を「花街道」。多くの花が咲く道をこのように呼ぶ方もいらっしゃるのか。道沿いには農家のお店もあり、地元でとれた野菜が並びます。



JR中央線の線路を右に左に、バスは終点の小仏バス停を目ざして山道を上っていきます。

これから穏やかな季節。お出かけになって、心身ともにリフレッシュされてはいませんか？

□ご感想や当社路線沿線の耳よりな情報などがございましたら、左記まで葉書きでお寄せください。
〒192-0364
八王子市南大沢5の26の1
京王バス南株南大沢営業所
4班情報版担当 あて

小仏線 甲州街道

に浴つて



▲高尾のシンボル、天狗 (高尾駅北口)



ゆたかな自然に
包まれた高尾山。
その北側をたどる
旧甲州街道。

周辺では、自然観察はもちろんですが、各時代の歴史を学ぶこともできます。
駐車スペースはほとんどありませんので、お出かけの際は、ぜひバスをご利用下さい。



日影バス停

※記事の内容は取材時のものです。変更されている場合がありますのでご注意ください。

バス停名 (位置は目安です)
。(バスのルート)



蛇滝口バス停でバスを降り、小仏方向へ5分ほど歩くと、蛇滝を通って高尾山へ至る、かつての表参道、蛇滝道の入口になります。霊山の高尾山にある四つの滝。その一つの蛇滝は、琵琶滝と同じく、滝修行の修行道場です。この滝には次のような伝説があります。

「昔、猟師に撃たれた白蛇が、今にも殺されそうになっていた時、滝修行の場を探していた俊源大徳しゅんげんたいとく・高尾山を開いたといわれるが通りかかり、その白蛇を助けました。白蛇は俊源大徳へのお礼のため、滝に化身して自分の身を修行の場としてささげた」といいます。

蛇滝口バス停の近くに、古い建物があります【左の写真①】。これは「蛇滝の下の峯尾」として古くから親しまれてきた「行者宿(修行に来た人々が泊まったところ)です。その軒下には「はね板」【同②右】と呼ばれる札が掲げられていて、今もそのまま残っています。「はね板」は、たて50枚、横15枚ほどの大きさで、今見ることが出来るのは75枚。高尾山の講中の人々が、この宿が建てられた時にかけたもの、とのこと。また、建物脇にはわき水【同③左】もあり、今もハイキングの方々のを潤しています。：かつての高尾山の様子を偲ぶことができる貴重な遺物ではないでしょうか。





コース紹介

7月某日、快晴。久々に気持ちいい汗を流しました。

小仏バス停～小仏峠 (コースタイム0:50)
高尾駅7:12発のバスで小仏バス停へ。日頃の運動不足で不安を抱えながら取材をスタート。小仏バス停からしばらく車道を登っていく。左に宝珠禅寺、S字カーブを抜けた所で車道は終点。右に景信山への分岐を見て、いよいよ山道。左手に流れる沢が途切れると、道は一段と狭くなりジグザグ道に。やがて小仏峠へ。



まだまだこれから

小仏峠～小仏城山 (コースタイム0:25)

小仏峠は、景信山や陣馬山あるいは小仏城山を経て相模湖、高尾山に向かうコースの中継点。景信山方面に至る登山口の所に地藏が立っている。ここには駒木野に移されるまで、小仏関所があった。小仏城山へ向け尾根道を行くと、相模湖が見下ろせる場所がある。さらに進むと電波塔が見えてくる。ここが小仏城山。東側に遠く新宿方面の景色、西側には相模湖、更に富士山の姿も…。
〈茶屋、トイレあり〉

相模湖が見える!



小仏城山～一丁平 (コースタイム0:15)

城山をすぎると、しばらく下りが続く。山桜の並木が続き、花の季節には素晴らしい眺めになる。その後やや登りになるが、木々の切れ間から、遠景を望みながらの道となる。ほどなく一丁平に到着。〈茶屋はなし。休憩小屋、トイレはあり〉



「ルリタテハ」という蝶と、高尾ビジターセンターで教えていただきました。(一丁平にて)

一丁平～高尾山 (コースタイム0:35)

その後も桜並木が続く。秋には特に紅葉が美しい。尾根道は広いものの、やや起伏があり。ぬかるんでいる所もあるので、滑らないよう注意が必要。いよいよ高尾山に近づき、三叉路が現れる。中央の石段を上ると高尾山頂。山頂からは、八王子市街や都心のビル街、また富士山も望める。食堂も数軒あり、簡単な食事をとることもできる。また高尾ビジターセンターでは、展示や解説、様々なプログラムなどを通じて高尾山に関する情報を提供している。

▲景信山(727m)

高尾山～霞台 (コースタイム0:45)

ここから霞台までは、何通りかのコースがあるが、私たちは吊り橋のある4号路を選んだ。途中、いろはの森コースにもつながり、日影沢にも降りることもできる。土が踏み固められ木の根が浮きあがり、歩きにくく、滑りやすいところが多いので、足元には充分注意が必要である。吊り橋を渡り1号路と合流。たこ杉、高尾山サル園、十一丁目茶屋を右手に見て、霞台に到着。ここからも眼下に八王子市街を望み、取材班みんなで「自分の家はあっちだ!こっちだ!」と大騒ぎであった。



これが伝説の「たこ杉」

霞台～蛇滝口バス停 (コースタイム0:50)

少し戻って「自然研究路2号路、蛇滝口バス停方面」への分岐を下る。鬱蒼とした森の中を一気に下る道で、高尾山のメインルートとの喧噪とは違い、訪れる人も少なくひっそりとした印象。ここ蛇滝は水行道場として信者以外は立入禁止である。蛇滝を過ぎると道は車道となり、行の沢に沿って下る。左に老人ホームを見て橋を渡り、突き当たりを右に。やがて蛇滝口バス停が見えてきた。「フー、着いたあ〜」…しかし、この後数日間、筋肉の悲鳴!に耐えなければならなかった。 <※記>

※お願い；思わぬ事故がおきないように、十分な準備と、無理のない行動をお願いします。また、貴重な自然の保護と、地元の方々や他の訪れた皆さんのご迷惑とならないように、必ずマナーをお守り願います。



蛇滝への入口

- 参考 ~~~図書館でぜひどうぞ。
- ・「多摩・鉄道とまちづくりのあゆみ」(資料編) 財団法人東京都町村自治調査会
 - ・「歴史と浪漫の散歩道」(改訂版) 八王子市教育委員会
 - ・「多摩の街道②」清水克悦・津波克明(けやき出版)
 - ・「わたしの高尾山」高尾山自然保護実行委員会(アイ企画)
 - ・「八王子のりもの百年史」清水正之(地球書館)
 - ・「八王子事典」八王子事典の会(かたくら書店)
 - ・「中央線四一九列車」齊藤 勉(のんぶる舎)
 - ・「高尾通信」高尾パークハイツ名店会・高尾名店街



小仏線・始終発バス停時刻表 ※2007年8月現在

「高尾駅北口2のりば」発			「小仏」発		
平日	時	土・日祝	平日	時	土・日祝
12	6		40	6	
12	7	12	40	7	40
12	8	12 32 52	40	8	40
12	9	12 32 52	40	9	0 20 40
12	10	12 32 52	40	10	0 20 40
12	11	12	40	11	0 20 40
12	12	12 42	40	12	40
12 42	13	12 42	40	13	10 40
12 42	14	12 42	10 40	14	10 40
12	15	12 42	10 40	15	10 40
12	16	12	40	16	10 40
12	17	12	40	17	40
12	18	12	40	18	40
12	19	12	40	19	40
12	20	12	40	20	40

■ 珈琲自家焙煎の店 ふじだな

—こだわり豆工房 峯尾—

住 八王子市裏高尾町 1254 (裏高尾バス停から3分) (p.3 緑②)
 問 Tel-Fax 042-661-0798 営 10~18時
 休 木・金 (祝祭日は営業)



峯尾祥弘さん、房子さん

「今年は山ユリの花がよく咲いてるよ」。「次に来た時は森の図書館の展示をみたいわ」..お店のドアを開けると、コーヒーの香りとともにお客さまのおしゃべりの声が迎えてくれた。「皆さんの出会いの場所として、この店でひと時を過ごしていただきたいですね」と話す、マスターの峯尾祥弘さん。今年8月でオープンして丸3年、奥様の房子さんと二人でこの店をきりもりする。以前、マスターはサラリーマン。営業の外回り、ふと入った喫茶店で砂糖やミルクを入れないで飲めるコーヒーに出会ったことから、4か月間、近くに泊りこんでコーヒーに関するノウハウを教わり、やがて自宅にこの店を開いたという。

「帰りはこの店に寄って一息つきながら情報交換するんですよ」。「コーヒーがおいしいのはもちろんだけど、マスターの人柄に誘われて皆やって来るんだよ」。遠くから来た方も、地元の方も、性別や年齢なども関係なく、コーヒーを飲みながら話しの輪がひろがる..飾らない雰囲気です。

「帰りにこの店に寄って一息つきながら情報交換するんですよ」。「コーヒーがおいしいのはもちろんだけど、マスターの人柄に誘われて皆やって来るんだよ」。遠くから来た方も、地元の方も、性別や年齢なども関係なく、コーヒーを飲みながら話しの輪がひろがる..飾らない雰囲気です。



取材時にいらしたお客様

編集後記

西これからの季節に最適な小仏線の沿線。ご自身の体力を試すのにも最適な場所ではないかと思えます。

次号の情報紙作成時には、また触れあいを求めてどこかの場所にお邪魔するかもしれない場所をご紹介します。と思っています。

最後に、今回の情報提供にご協力いただきました皆さま、どうもありがとうございました。(4)

こちらにおいでの際は、ちょっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

- 一杯300円(アイス350円)で、ていねいに一杯ずつペーパードリップで淹れたコーヒーをいただける(クッキー付)。
- 自家焙煎のコーヒー豆も販売。なかでもおすすめは「ふじだなブレンド」(100g ¥480)。酸味、苦味、甘味のバランスがとれた自慢の一品。



好評運行中 南大沢駅⇔羽田空港 ますます便利に

南大沢駅 多摩センター駅 聖蹟桜ヶ丘駅

羽田

成田

やっぱり 空港直行バス!

- 必ず座れます
- 重い荷物も背になりません
- 乗りかえ不要
- 早朝・夜間はさらに迅速

羽田 中央道日野バス停 八王子駅北口 京王八王子駅 高尾駅南口

羽田空港へ

- ▶南大沢駅から 運賃 片道1,600円 *所要時間 南大沢駅発 約95~140分
- ▶多摩センター駅・聖蹟桜ヶ丘駅から 運賃 片道1,500円 多摩センター駅発 約80~120分・聖蹟桜ヶ丘駅発 約60分~100分
- ▶高尾・八王子から 運賃 片道1,700円・所要時間 約95~135分
- ▶中央道日野から 運賃 片道1,500円・所要時間 約70~105分

成田空港へ

- ▶南大沢駅から 運賃 片道3,400円 *所要時間 南大沢駅発 約140~170分
- ▶多摩センター駅・聖蹟桜ヶ丘駅から 運賃 片道3,300円 *小児運賃半額 多摩センター駅発 約125~150分・聖蹟桜ヶ丘駅発 約105分~130分



●道路事情により延着する場合があります。余裕をみてご利用ください。
 ●空港行は前日までの予約制です。当日空席のある場合は先着順となります。※空港発は先着順による座席定員制。
 ■インターネット予約⇒www.highwaybus.com /i 携帯電話 朝4~深夜2時 ■電話予約⇒京王高速バス予約センター 03-5376-2222・9~18時

